

令和 6年 9月 1日

# 父母の会だより

## 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会 第56号

〈発行責任者〉豊橋市瓦町通 2-163 後藤久代 090-5455-9243

FAX/0532-61-5032 E-mail/melanie-hg@hi3.enjoy.ne.jp



「アイロンビーズの SnowMan」足立直生さんの作品

### 足立さんからのコメント

ひとりひとりの特徴を出すのが難しかったけど、出来上がった時にお母さんが似てるよと、言ってくれてとても嬉しかった。これからも、たくさんアイロンビーズを作って、個展をやりたいです。

### おらせ

郵便代値上げに伴い、行事のお知らせ・参加申し込みを公式LINE、webでの申し込みフォームでも対応することを検討中です。スマホ、LINEをご利用されている方は父母の会公式LINEの登録のご協力お願いいたします。 **よろしくお願ひします**



<https://www.fubonokai-toyohashi.com>



## 第56号 目次



1. 令和6年あゆみ学園 Q&A . . . . . 2
2. 善意フェスティバル 2024 . . . . . 6
3. 愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会定期総会（設立60周年記念） . . . . . 7
4. 父母会会員に対する短期入所・レスパイトについてのアンケート調査・意見等 . . . . . 9
5. 東海北陸肢体不自由児者父母の会「三重大会」開催報告 . . . . . 10
6. 第23回豊障連大会 . . . . . 12
7. 要望書（父母の会関連） 豊橋市からの回答 . . . . . 13
8. レスパイトと訪問看護に関するアンケート調査結果 . . . . . 15
9. 福祉他いろいろ情報 . . . . . 16
10. 青い鳥郵便はがき寄付のお礼 . . . . . 17
11. 新しい仲間紹介 . . . . . 18
12. 今後の主な行事 あとがき . . . . . 19





# 令和6年度第2回あゆみ学園 Q&A 報告書

日時：令和6年7月11日

於：豊橋あゆみ学園

書記：鳥島美代子

第2回「あゆみ学園Q&A」は①「福祉サービス」②「進路」をテーマに行い、父母の会参加者より自己紹介した後、テーマ②「進路」についてゲストの方3名に経験談を話していただきました。①「福祉サービス」については参加者がそれぞれの経験から話をさせていただきました。

【参加者】 父母の会役員3名と豊川・田原・豊橋の会員3名のゲスト、あゆみ学園田中先生、保護者12名、

## 1. 父母会参加者より簡単に自己紹介

## 2. 「進路」についてゲストの方の経験談

### ①田原市在住、現在くすのき学園高校2年生男子の母

あゆみ学園には年中まで通い、高山学園へ入園。

その後の進学はくすのき特別支援学校を希望していたが、自立歩行を安定して行うことが難しく、理学療法士の先生に相談したところ過去に豊橋特別支援学校からくすのき特別支援学校へ転校した生徒もいると聞き、「なるほど」と思い、豊橋特別支援学校小学部へ進学。

その後高山学園の同級生からの誘いもあり小学4年生にくすのき特別支援学校へ転校。

くすのき特別支援学校には現在305人の児童・生徒が在籍。6台のスクールバスが運行しており、中学部からは制服（ブレザー）着用で、去年より女子もズボンの着用が認められている。

小学部の特徴は自立活動が主で、月に一度「てくてくタイム」という学校の周りを1～2km歩く時間がある。

中学部からは作業訓練がはじまり、春と秋に一週間ずつ校内で実習を行い訓練する。

高等部へ進学するためには高校受験もあり、生徒は親と離れて運動テストと面接を受ける。高等部には普通科と産業科があるが普通科の生徒が大多数。作業実習が校内外であるなど進路を意識した内容になる。

### ②豊橋市在住、現在地域の中学校2年生男子の母

年中まであゆみ学園に通う。息子も先生が大好きで様々な刺激を受け、出来ることも増える。朝早く起きて学園に通うなど生活の基本を作ることが出来た。

その後、地域の保育園へ入園。その際、自分で1つ1つ保育園を見て回った。入園した保育園では加配はつかなかった。

小学校は地域の小学校へ進学したが、肢体クラスでありながらも精神の子と一緒にクラスになり、

ケガをすることもあり心配だった。肢体クラスの担任を一人つける必要があることを訴え、学校に何回も改善を求めたがなかなか上手くいかなかった。

中学校も地域の中学校を希望したが、最初に希望した学校は設備面、並びに受け入れる先生方の体制に関してもバリアフリーが十分ではなく、断念。現在通っている中学校は息子が入学するまでに設備面のバリアフリー化を進めてくれたうえ、先生方も理解があり受け入れに前向きで、環境がとても良い。授業は支援級ではなく通常級で受けており、授業での必要な支援や移動などの補助を支援級の先生にお願いしている。中学になると課題も多く、腕の麻痺もあり授業についていくのが難しい時もあるが、支援級にて先生とマンツーマンでフォローしてもらい課題についていけるようにしてくれている。

この先地域の学校への進学を考えている方には、息子のような事例があることを伝えてもらえれば学校側も考えてくれるきっかけになると思う。

高校については現在検討中で、いろいろな高校を見学に行っている。あと本人の希望と頑張りも大切。

進学先については早め早めに考え、動き始めるようにしている。中学校の検討は小学校4年生から動いていた。受け入れる学校側にも早めに知っておいて欲しいのと、施設を変える際には予算との兼ね合いがあるため早すぎるのではないかと思えるタイミングで動いていた。

### ③豊川市在住、現在豊川特別支援学校高等部1年生男子の母

あゆみ学園には2年通園。その後地域の幼稚園へ入園し地域の小学校へ進学。地域の中学校を経て現在は豊川特別支援学校へ通っている。あゆみ学園に通園し始めた頃は座位が不安定だったが、あゆみ学園のPTの先生の指導で歩けるようになった。

地域の幼稚園で初めて過ごした時、新しい世界に触れてショックを感じているようだった。親としては、あゆみ学園で不自由さを持つ子どもに理解も知識もある人々の中で2年過ごした後、地域の幼稚園に入園したので、あまり知識のない人に息子のことを理解してもらうことが大変だった。現在は豊川特別支援学校高等部に進学し息子に理解・知識のある人が多く、「楽!!」というのが正直な感想。地域の幼稚園や小学校に進むことを希望する方は、あゆみ学園にいる間に自身の子供について理解して、他人に伝えられるようにしておく必要があると思う。

## 3. 「福祉サービス」について

父母会の参加者より利用しているサービスを紹介しました。

### 利用例①

高校を卒業して7年目。現在は「生活介護」事業所を月～金曜日毎日利用。2つの施設を利用。1つの施設は9：00～17：00で送迎あり。もう1つの施設は行きだけ送迎利用で8：30～、帰りは家族が迎えに行き通院などの時間にあてている。

「居宅介護」は3か所の事業所を利用。ヘルパーが月～金曜日まで来てくれて、お風呂に入れても



らったり、トイレの介助をお願いしたり、1時間利用。

「移動支援」は土日で利用。25歳になり本人も親以外の人と活動することを望むようになったこともあり利用している。買い物に行ったり、映画に行ったり本人の余暇に付き添ってもらっている。

「短期入所」は本人や相談員、さらに事業所のスタッフとも相談し、親から離れる機会を持ったほうが良いと考え利用している。

## 利用例②

「放課後等デイサービス」(以後「放デイ」)は小学部から高校部まで、学校のある月～金曜日と土曜日も利用。家族以外の人と接する機会が増え、人との関わりが好きになった。また様々な人から介助されることに抵抗がなくなった。親も時間を持つことが出来るようになり、心身の余裕が出来る。また仕事を始められるようにもなった。

## 利用例③

「放デイ」では送迎もあり、また長期休暇の時も利用できる施設もあるので、どこかの施設と契約しておくが良い。長期休暇の時は時間が短くなる施設もある。「放デイ」は療育の一環なので、利用者を預かるだけではなく利用者がよりよく生活が出来るようカリキュラムを組んで実施することになっており、子供の成長にもつながる。

## 利用例④

放課後に近所の子と遊べないので「放デイ」を利用していたが、他の利用者が宿題などの学習支援を受けていると一人になってしまうため他の「放デイ」の施設を探した。「放デイ」へ何を求めるのかははっきりさせてから調べて決めたほうが良い。

## 利用例⑤

「放デイ」の施設はバリアフリー化されている施設が少なく、肢体不自由児の場合利用できる場所が限られていた。

中学2年生になり支援員さんから「中学の問題は難しくて教えられない」と言われ、今は「学校支援のデイサービス」を利用し、送迎はなく時間も100分と決まっているが、週2で通い、学校の学習の支援をしてもらっている。

## 4. 質疑応答などフリートーク

### Q. 障害のある子を地域の幼稚園や保育園、学校などに入れることを希望する理由について

A - 1. 園庭開放に行った時の息子が他の子を見る目が普段とは全然違い、すごい刺激を受けて「こんな世界があるのか!!」と言わんばかりのびっくりした表情をしていた様子から、いつもと反応が違うなど考えたが、その園に入園するのはとても不安があり、あらゆる人に意見を聞いた。その時「この(地域の幼稚園)環境のほうがこの子は伸びるんじゃないか」と言われ、実際に「他の子と同じように自分もやってみたい」というやる気が本人にも芽生えていたので、地域の園に入園することを決めた。

また地域の子供たちに自分の子を知ってほしいし、本人が生活していく中で、息子のような人も社会の一人として生活していることを地域の人に知ってもらったほうが、息子も生活がしやすいのではという思いもあった。

**A-2.** 保育園では刺激の量が多く、出来ることも多くなった。あゆみ学園だと母とずっと一緒に過ごし例えばオムツも取れなかったが、地域の保育園に入ってからすぐオムツが取れた。みんな当たり前のように活動していることに一生懸命ついていこうと頑張り、活動量もすごく増え、どんどん自分の気持ちを伝えられるようになった。入院しなければいけない時も淋しいと言うことはなく、一人でも楽しく過ごせるようになった。自分の住んでいる所だったら自分で人の輪を広げていかないといけないので、地域の小学校への進学は決めていた。将来のことを考え、周りの子に息子のことを知ってもらい、また同級生をつくるためにも登下校もなるべく一緒にさせた。

…他、フリートークの中であゆみ学園卒業後のイメージを具体的に持っていただけるよう、お話をさせていただきました。

## 5. あゆみ学園参加者の感想(一部抜粋)

- ・支援級のことで学校との交渉で苦勞したお話はとても興味深かったです。
- ・それぞれの方がどんな進路を選択したか、をお話いただいてとても参考になりました。
- ・最後の質問の時間があまり取れなかったのが残念です。子供の状態も様で全体場で質問してもいいのかな？とってしまうので、個別で聞ける場面があれば有り難いです。
- ・「福祉サービス」はあゆみ学園在園中の情報をいただけるけど、その後は個々がアンテナを高くしていないといけないのかなと思いました。
- ・自分の子供のことをよく理解して他人に伝えられるようにした方が良いという意見に最もだと思いました。
- ・「放デイ」などを利用する必要があるときに、利用条件や事業所についてなど聞ける環境があればと思います。父母の会と繋がってほしいと思いました。

以上

**次回は11月26日(火)を予定しています**

# 善意フェスティバル 2024



令和6年5月26日(日)開催  
於:豊橋総合動植物園「のんほいパーク」

今年も晴天に恵まれ、青空のもと「善意フェスティバル」が開催されました。  
はじめの会については、父母の会はみなさん暑さで体調を崩さないよう日陰から見守らせていただきました。  
学生ボランティアさんとグループを組んでからは各々ゲームコーナーを回ったりして楽しみました。  
最初はお互いドキドキして回っていても、徐々にうちとけて、車いすを押してもらっているうちに笑顔になる方が多かったです。

みんなお弁当もいただき、充実した一日を過ごすことができたようです。初対面でほんの数時間一緒に過ごすだけなのですが、お別れの時は寂しい気持ちになってしまいます。また来年元気なボランティアさんと一緒に過ごせることをみんな願っています。

これまで準備をしてくださった善意銀行さん、企業・ボランティアのみなさんありがとうございました。



## 善意フェスティバルに参加して

はじめの会からボランティアさんが決まるまでの時間が長くて、そこまでで疲れてしまいましたが、その後はたくさんゲームや大好きな工作のコーナーがあり、楽しめました。  
ボランティアの学生さんも頑張って車いすを押してくれました。  
ありがとうございました。

市川真由佳(母:恵理子)

# 愛知県肢体不自由児・者父母の会連合会 定期総会 (設立60周年記念)

6月15日(土)愛知県立名古屋特別支援学校にて愛肢連定期総会が開催されました。今年には5年ぶりに第二部も行われ、60周年記念として「心魂プロジェクト」さんの対面コンサートを観賞しました。

特別支援学校での開催のため、バリアフリーで移動もトイレもたいへん使用しやすく、参加者はみなさん安心されたかと思います。学校となりの青い鳥医療療育センターでは参加者の駐車場としての場所提供、学校迎い側の名古屋市父母の会が大きくかかわっている福祉事業所の「サンホープ」さんにも昼食会場として協力いただき大変助かりました。

式典では荻野会長より、今年1月1日に発生した能登半島沖地震において石川県肢連が速やかに動き、避難所生活が難しい障害児者のために金沢にて入院・入所できる病院等を捜し、移動手段を確保するのに尽力されたお話をされていました。そのため、愛肢連運動方針にも災害時において関係機関・団体の協力・支援が得られる体制づくりや個別避難に対する支援ができる体制整備なども盛り込まれていました。

そして、顕彰では豊橋市から自立更生として4名、援護功労として豊橋・田原からそれぞれ1名表彰されました。おめでとうございます。

ご来賓からもみなさんへの励ましのお言葉をいただき、これからも頑張ろう！という意欲につながったと思います。

特に三河青い鳥を受診されている方々は、身近な存在である肢体不自由児協会の吉橋先生からのご挨拶に喜んでおられたように思います。

肢体不自由児特別支援学校の校長先生方、三河青い鳥医療療育センターのセンター長、信愛医療療育センターのセンター長と身近な方々のご臨席いただけるのはありがたいことですね。



第二部では全国大会でも公演をいただき、全肢連応援歌、愛肢連会歌として「笑顔をつなごう！」を制作歌唱まで受けてくださった「心魂プロジェクト」のみなさんが駆けつけてくださいました。参加者はみんな歌声やパフォーマンスに魅了されて、たいへん楽しく有意義な時間を過ごすことができました。今回豊橋からの参加者のほとんどが市役所のバスを利用し、会場まで移動しました。名古屋までは遠く、みなさんからはとても助かったとの声をいただきました。安全に心がけてみんなが安心できるよう送り届けて下さり本当にありがとうございました。

来年度の愛肢連総会は一宮市での開催となります。

以上

## 表彰されたみなさんです おめでとうございます！

### 自立更生



### 援護功労



【自立更生】 左から  
新 佳祐さん  
高木奏衣さん  
高橋健斗さん

【援護功労】 左から  
彦坂有美子さん  
奥平久美子さん



## 愛肢連定期総会の感想 No.1

6月15日に名古屋市西区にある名古屋特別支援学校にて愛肢連定期総会に息子と参加してきました。名古屋は私の実家が瑞穂区にあるため、なじみある市ではありますが、西区は思ったより遠く息子にしては珍しく「まだ～？」を連発。到着時は少々疲れた様子でしたが、総会が始まり、来賓の中に三河青い鳥医療療育センター長の則竹先生や豊橋特別支援学校長の彦坂先生など知った顔を見つけ喜んでいました。

第2部では、息子も私も大好きな心魂さんのコンサート♡メリハリのある構成で飽きることなく、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。そして何より病気でお子さんを亡くされた天使ママによるパフォーマンスは感動しました。またいつか心魂の皆さんに会えるのを楽しみにしています。

帰りの車中での話になりますが、会場である体育館に校歌の歌詞が飾ってあったのですが、歌詞に名古屋養護学校となっていたそうです。息子が中学校の時に特別支援学校と名称変更となったのですが、当時、息子達は校歌の歌詞を養護から特別支援学校と替えて覚えなおすのが大変だったこと、体育館の歌詞も替えられたと思い出話をして帰りました。

尾崎博美

今年の愛肢連の総会は、8年ぶりに「名古屋特別支援学校」で行われました。8年前にも息子と一緒に参加させていただき、その時はまだ学校に冷房を設置するという流れになっておらず、とても暑かったので私も他に参加された皆さんもよく記憶に残っていました。今回はありがたいことに「援護功労表彰」に選んでいただき、当日は胸に花を付け、1番前の席に座らせていただきました。表彰状を正式に受取る機会などなかなか無く、座って待っている間、19年間息子と一緒に過ごした日々がとても尊いものに感じ、少し誇らしい気持ちにさえなることができました。

こういった機会を作っていただけることにとても感謝しております。

8年前と同じ流れで、今回も第2部は心魂さんのパフォーマンスを楽しみました。前回は何度も泣いていた息子が、今回は手でリズムを取りながら観ており、おかげで私も自分の時間としてゆっくり楽しむことができました。日々、そんなに肩に力が入っているとは思ってなかったのですが、ミュージックシャワーというヨガの時間に体をほぐすと驚くほどスッキリしたり、歌を聴いて自然と涙が止まらなかったり、自分でもびっくり。そんな内面の感情を引き出して下さる心魂さん、やっぱりすごい！と思いました。

楽しい1日をありがとうございました。

奥平久美子

6/15（土）愛肢連総会に参加しました。そこで、自立表彰を受けました。表彰の連絡が来た時「何着て行こうかなー」「スーツがいいかなー」と健斗の頭の中はそのことであらうなっていました。家族はもちろん、通所している施設・日中一時で利用している施設でみんなに表彰のことを言っていました。

当日、市役所に集合してバスに乗って行きました、名古屋に行くのは何年ぶりでしょう。ずっとしゃべりっぱなしでした。よほどうれしかったのでしょうかね。あちこちキョロキョロしているうちに到着しました。お昼ご飯を食べてから式に参加。沢山の話聞いて、いよいよ表軽式。大きな声で返事をしてくれました。賞状、記念品をもらい、うれしそうでした。

帰りも寝ることなく、市役所に無事到着しました。健斗にとってはちょっとした小旅行だったのでしょうか？家に着いての最初の一言は「名古屋って遠いね」でした。夜はいつもより早く寝たので、疲れたんでしょうね。写真・動画を家族メールで送ったら友達から「健ちゃんおめでとう、すごいね！」とみんなからメールをもらいました。

これからも元気に生活できるように、頑張ります。

高橋使斗・直子（母）

今日は父母の会結成 60 周年の節目の年で表彰してもらいました。みんなに喜んでもらえてうれしかったです。

第 2 部で愛肢連 60 周年記念公演心魂プロジェクト対面コンサートがありました。僕は初めて聞いたのですが、歌を披露してくれる方が凄く上手で盛り上がりました。聞いてからみんなと仲良くして、これからも仕事を頑張っていきたいと思いました。終わった後に僕の友達と一緒に写真を撮りました。

また参加したいです。ありがとうございました。

新佳祐

## 東海北陸肢体不自由児者父母の会「三重大会」開催報告

令和 6 年 6 月 8 日～9 日 於 グランドメルキュール伊勢志摩リゾート&スパ

第 59 回東海北陸大会は三重県伊勢市で開催され、愛知県からは 17 名の参加で、金山駅から福祉観光のバスや自家用車で会場のホテルまで向かいました。

三重県肢連鈴木会長、全肢連清水会長（代読）のご挨拶の後、ご来賓よりご祝辞をいただきました。

第二部の講演・研修会の前に石川県肢連の松田会長より、今年の元日に起きた能登半島地震の報告がありました。被災して大変な思いをされた方や、松田会長の故郷のお知り合いが亡くなった話を聞いて胸が痛みました。一日も早い復興を祈らずにはいられませんでした。



講演は、特定非営利活動法人 なちゅらんの西脇施設長の『地域の中で安心して暮らすことのできる環境づくり』というテーマで、さまざまな年代に対応した環境づくりの取り組みについてご紹介いただきました。続いて元気じるし株式会社の石山代表による『障害のある子の「親亡きあと」の準備』について、行政書士・税理士の立場から心構えを教えてくださいました。

最後に三重県子ども・福祉部 障がい福祉課の池田課長から、「三重県における障がい者福祉の増進について」の説明があり、いずれも盛りだくさんの内容で時間が足りないほどでした。

講演の後には、三重高校ダンス部のパフォーマンスを見せていただき、会場は大盛り上がりでした。

来年は岐阜県大垣市で開催されます。

(田原市 彦坂有美子)

### 感想文を頂きましたので紹介します

第一部の式典の中で、石川県肢連の松田会長より、元日に起きた震災の状況報告をしていただき、たくさんの知り合いの方が被災されたと聞きました。気丈に今回の大会にも参加され、いざ自分の住んでいる場所で災害が起きて、周りの人が被災してしまったら、私は気丈にしていられるだろうか、と考えさせられました。松田会長は、「元気付けることは支援を続けること」と言われていたので、これからも思いを馳せることなら私にもできるかもしれない、と感じました。

第二部では、「非特定営利活動法人 なちゅらん」の施設長のお話が心に残っています。ちょうど今、息子のショートステイ先を探しており、なちゅらんさんでは生活介護事業所にショートステイも併設されているとのこと、とても良い環境だなあ、と感じました。自分の子供の特性をたくさんの支援者へ伝えていくのは親の役割だと思っておりますが今、主に生活している生活介護事業所である程度子供の特性を分かってくれている方が、ショートステイにも携わって下さるのはとてもありがたいです。

愛知県にもこういった事業所がたくさんできるように声をあげて行きたいと思いました。

翌日は、県のみんで「鳥羽水族館」へ寄ってから帰路につきました。久しぶりの鳥羽水族館はとても賑わっており、私達も日常から少し離れて楽しませていただきました。

(奥平久美子)

三重大会に参加してきました。6年前にも同じ会場で開催され、参加させて頂きました。リニューアルされていましたが、部屋からの景色や、所々変わっていないところを見つけて懐かしく感じました。

第2部の冒頭、石川県の松田会長の能登半島地震のお話には胸が熱くなると同時に、災害への備えをしっかりしなくては！と改めて思いました。

今回は3人の方が講演してくださいました。私は特に、元気じるし株式会社の石山代表の「障害のある子の親亡き後の準備」のお話が興味深かったです。時間の関係でかなりの駆け足講演だったのが残念です。また機会がありましたら是非勉強会をお願いしたいと思います。

(尾崎博美)

第23回豊障連大会が6月22日(土)にあいトピアで開かれました。何年かぶりにコロナ以前と同じ形で行うことが出来ました。

山下会長は挨拶で少人数のために財源を使うのも良いのでは少人数なら使う財源は少なくすむ、そのような考えの豊障連として動きたいと話されました。

浅井市長は誰もが気持ちを持てる啓発活動が大事だと思っている。議会と共に啓発活動の推進に励むと。

続いて伊藤市議会議長は障害があっても人の役に立とうと思う心が大事。要望を汲み上げて住みよい豊橋を作りたいと祝辞をいただきました。

2部は卓球パラアスリートの八木克勝（やぎかつよし）さんの「人生ふりかえり～障害について考える～」という記念講演でした。八木さんは東京パラリンピックに出場されて今年のパリパラリンピックに出場予定です。昨年のアジアパラ大会で獲得した金メダルを会場の全員にさわらせてくれました。

講演の内容は、スポーツマンとしては年齢がいつまでか（34歳）なので東京パラ後は引退を考えたがとりあえずパリまでは現役続行と決めた。腕から先が短い障害なので足を活かすフットワークに重点をおいている、その方法としてピラティス・古武術を行った。国際大会で勝つのは難しいが現在は世界ランキング2位になった等です。そして最後に自分が何かできないかと今日一日だけでも考えて欲しいと話されました。

八木克勝氏



### ～豊障連大会感想～

八木選手のお話は考えさせられました。  
豊橋から、オリンピックだけでなく、パラリンピックの選手が出るなんて…。そしてメダル候補、なんて素晴らしい。  
もうすぐ本番オリンピック・パラリンピック。絶対に応援します。  
私も海外へ行ってみたいです。仕事を頑張って、貯金増やします。英語も頑張りたいです。日本とは違う価値観・言語・景色・・・おもしろそうです。  
私も歩くなど、気軽なスポーツを楽しみたいです。

松井理恵





## ～ 要望書（父母の会関連） 豊橋市からの回答～

### 1. 【豊橋市内の公園等、特にのんほいパークや桜が丘公園、整備予定の「豊橋公園東側エリア」にインクルーシブ遊具設置をお願いします】

回答:【公園緑地課】【動植物園】【多目的屋内施設整備推進室】

近年、多様性を認め合い共生する社会づくりが求められており、性別や人種、年齢、障害の有無などに関わらず、誰もが楽しく一緒に利用できるインクルーシブ遊具の導入は必要であると認識しています。このため、豊橋公園東側エリアに新たに整備することも広場に、インクルーシブ遊具を設置していきます。また、のんほいパークや幸公園など駐車場が完備されている公園や、桜ヶ丘公園といった障害者施設や福祉施設に隣接する公園を対象に、貴団体や地域と相談しながらインクルーシブ遊具の設置を進めてまいりたいと考えています。

### 2. 【福祉避難所さくらピアの改善策検討をお願いします】

回答:障害福祉課

令和 5 年 6 月 2 日の大雨により障害者福社会館の体育館及び体育館倉庫が浸水したことを受け、大雨が降った際にも福祉避難所として機能し、障害者などが安心して避難できる環境を整備するために防水工事を行い、令和 6 年 4 月末に完了いたしました。

### 3. 【あイトピア等福祉避難所体制の見直し、構築をお願いします】

回答:福祉政策課

6月の水害ではご迷惑をおかけしましたが、「あイトピア」を含む指定福祉避難所については、南海トラフ大地震等の大規模災害発災後、指定福祉避難所の開設指示が出された際の施設の利用計画を令和3年3月に定めています。この施設利用計画に基づき大規模災害発生時は「あイトピア」において施設内の区画を分けて「災害ボランティアセンター」と「指定福祉避難所」を同時に開設・運用することができる体制を整えていますので、引き続き避難所開設訓練を施設管理者と共同で実施し、利用計画に基づいた災害時の対応について認識を共有してまいります。さらに、福祉避難所への直接避難することの可能性や利便性向上のための医療機器対応モバイル電源の確保等を検討し、要配慮者の支援体制強化にも努めてまいります。

### 4. 【交通助成券や障害者タクシー料金助成券の増額をお願いします】

回答:障害福祉課

タクシーの乗車料金に対する一人当たりの助成額は岡崎市と比べて低いものの、本市では障害のある方が様々な交通手段を利用できるよう、タクシーに加えて鉄道やバスなどの乗車料金の助成も行っております。これらをあわせると岡崎市を上回る規模で交通助成事業を実施しておりますので、現段階では一人当たりの助成額の引き上げは難しいと考えています。

## 5. 【重心児者のマイナンバーカードの発行手続きについて】

回答：市民課

重心児の場合、親権をもつ保護者（父母）が法定代理人の地位にあるため、本人と法定代理人である保護者の本人確認書類、および来庁困難疎明資料である身体障害者手帳もしくは療育手帳を提示することにより、本人が来庁しなくても受け取り手続きは可能です。重心者の場合も、保護者が成年後見人に選任されていれば、法定代理人として、未成年の場合と同様に、本人が来庁しなくても受け取り手続きは可能です。今後も、ご本人の身体状況等を十分に勘案しつつ、本人および保護者の方々に寄り添った窓口体制の整備に努めてまいります。

## 6. 【日常生活用具費「紙おむつ等」支給品の追加及び補助金増額をお願いします】

回答：障害福祉課

今回、紙おむつ等の支給品目として、「ナプキン」の追加をご要望いただきましたが、日常生活用具制度の給付対象品目に含まれていないため、追加は難しいと考えています。また、補助金の増額については、物価高騰の影響で増額を望む声があることも重々承知しておりますが、一方で、日常生活用具給付事業の歳出額も年々増加傾向にありますので、様々な視点で事業内容を点検し、増額の可否について検討してまいります。

## 11. 【市民への「ヘルプマーク」周知徹底をお願いします】

回答：障害福祉課

近年ヘルプマークに関する公益社団法人ACジャパンのCMが放映されることなどによって、ヘルプマークに対する認知度が向上していると認識していますが、本市といたしましても、引き続き広報とよはしでのPR活動を行い、ヘルプマークの周知に努めてまいります。

## 12. 【導尿で訪問看護を利用している方の訪問回数増をお願いします】

回答：障害福祉課

一部自治体において、在宅生活を送っている医療的ケアの必要な重症心身障害児（者）等に対し、訪問看護師が自宅に出向き、一定時間、家族の代わりに医療的ケアを行う事業を実施している例があるため、本市においても、同様の施策が実施できるかについて、検討を行います。

# レスパイトと訪問看護に関する アンケート調査結果

※回答数62名

(父母の会会員、2024.6月調査)

## 【介助者のレスパイトとして利用したい制度】

(複数選択有)

1 短期入所	39
2 訪問看護	11
3 日中一時支援	21
4 移動支援 (ヘルパーによる)	16
5 移動支援 (看護師による)	6
6 訪問介護	10
7 訪問介護 (2号.3号研修済み)	3
8 必要なし	10

短期入所・日中一時・移動支援等自宅を離れて行う支援に比較的希望が多い。  
必要なしの多くはご本人が一般就労している。また、家族でまだみれているからというものが大半。

以下医療的ケア児者に対する質問

## 【医療的ケア児者の訪問看護について】

1 定期利用している	15
2 不定期で利用している	1
3 必要なので近い将来利用したいと思っている	3
4 訪問看護は必要ない	5
5 その他	2

<その他の回答>  
家に人をいれるのに抵抗がある。  
今はまだ大丈夫。

## 【訪問看護の利用日数】

定期利用者	
・週：2回、1時間	1
・週：1回、0.5～3時間	1
・週：1回、1時間	5
・週：1～2回、1.5～2.5時間	7
・週：2回、1時間	1
・隔週で1回 (時間不明)	1
・月：1回、3時間	1
・月：1回、1時間	1
不定期利用	
・1回につき1時間、年間約24日	1

週に1～2回、1～2時間程度の利用されるかたが多いようです。  
通学、通所で日中はなんとかなくても、在宅時でも支援に少し長めに入っていただくことで親のレスパイト、本人の自立に向けての支援につながるかもしれませんね…。

## 【利用できる日数について】

満足している	14
不満足である	3

・週に2回長時間利用を希望  
・週3回、1回につき1時間来てもらっているが、1回30分でもいいので、毎日2回入ってほしい →(導尿/本人の自立に向けて)

☆レスパイトとしては医療的ケアが受けられる短期入所の要望が強いです。  
今後も父母の会として引き続き声をあげていきたいと思っております。



## 福祉他いろいろ情報！

「障害者扶養共済制度」をご存じですか？

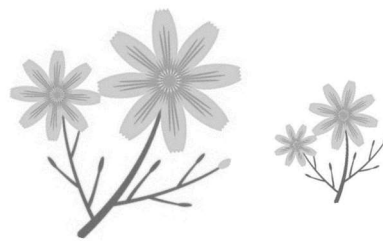
すでに加入済みの方もいらっしゃると思いますが、親御さんが亡くなったあと、障害のあるかたに終身で年金が支給される制度です。

加入口数によって支払われる金額が決まってきますが、障害年金とは別に支払われるためちょっぴり安心感がありますね。

興味がある方は障害福祉課にお問合せみてください。

TEL0532-51-2345(豊橋市障害福祉課)

詳しくはこちらから  
ご覧ください。



親あるうちにできること。  
お子さんに、生涯の安心を…。

## 障害者扶養共済制度 (しょうがい共済)

障害のある方を扶養している保護者の皆さまへ

毎月一定の掛金を納めていただくことで、  
ご自身に万が一(死亡・重度障害)のことがあったとき、  
障害のある方へ、終身年金を支給します。



「障害者扶養共済制度(しょうがい共済)」の4つのメリット

毎月2万円の終身年金	掛金が割安	税制優遇	公的制度だから安心
保護者が死亡、または重度障害になったときに、障害のある方に毎月2万円が生産にわたって支給されます。(2口加入の場合は4万円)	制度の運営に関する事務経費などの【付随保険料】が必要ないため、掛金が安くなっています。	保護者が支払う掛金は所得控除の対象になるため、所得税・住民税の軽減につながります。	都道府県・指定都市が実施している任意加入の制度です。

★ 加入資格、掛金(保険料)、年金額等の詳細については、保護者の方がお住まいの地方公共団体(都道府県・指定都市)の「障害者扶養共済制度担当」へお問い合わせください。

★ 制度の概要については、(独)福祉医療機構ホームページ「心身障害者扶養保険事業」をご覧ください。

心身障害者扶養保険事業

検索



厚生労働省

WAM

独立行政法人福祉医療機構

## まちづくり出前講座って？

○会員さんから情報をいただきました○

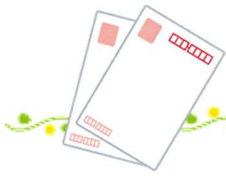
豊橋市では「まちづくり出前講座」があります。(10以上を目途のグループに対応)

「皆さんからのご注文に応じ、自治会や子ども会などで実施する会合やイベント、学校の授業などに主に市職員が出向いて、市役所の仕事やまちづくりのことなどのお話しをお届けします！」とのこと  
で令和6年度の講座数は76！この76の中にはない希望講座を広報広聴課に相談すれば特製メニューとして講座が開かれるかも！？(内容によっては開催できないこともあります)

福祉に関することもいろいろありますし、とにかく様々な分野でいろいろな講座が用意されています。気になる講座があって自分では10人あつめられない！という時には父母の会にもご相談下さい。(内容・時期によっては開催できないこともあります。)

講座の内容や申し込み方法は  
こちらをご覧ください





## 青い鳥郵便はがき寄付のお礼

前号で紹介しました「青い鳥郵便はがき」の寄付、ありがとうございました。

寄贈者は芝原良平さん、金田雄也さん、岩瀬秀子さん、篠原加奈さん、篠原萌凡さん、門林旺汰さん、中林咲貴さん、尾崎元哉さん、中根暖さん、松井俊裕さん、彦坂旺太さん、生田政子さん、宮田真奈さん、宮田七星さん、眞木祐輔さん、金子耀成さん、井土瑠美さん、多くの方々から寄贈がありました。ありがとうございます。

\*引き続きハガキの寄付は受けさせていただきます。

\*行事案内はがきの返信面を使用しなかった場合、返信面も書き損じはがきとしてご寄付願います。



## 新しい仲間紹介



【なまえ】  
植田 成哉（うへだ せいや）

【学校名・学年】  
豊橋聾学校 高校1年

【好きなこと・もの】  
東海道新幹線 N700S や、かがやき、こまち、はやぶさは、かっこいいから好きです。遠いところへ新幹線で行きたいです。

【趣味・得意なこと】  
マリオカートやマリオメーカー。プラレールも好きで、学校の先生や友達、デイサービスのスタッフさんの写真を並べて、駅から乗せて走らせています。

【がんばっていること】  
陸上部で大会があるので100m走の練習をがんばっています。



【なまえ】  
大場 梅歌（おおばうめか）

【園名】  
豊橋あゆみ学園/つつじ教室  
ゆり組/年長

【好きなこと・もの】  
トランポリン、バウンサー、布ブランコが大好きです！  
食べ物は肉まんやお肉料理が大好きです！

【がんばっていること】  
首がすわっていませんが、最近椅子に座るとよく自分で頭を起こしています。苦手なことも多いですが、就学に向けて保育とりハビリを頑張っています！





## 新しい仲間紹介



【なまえ】  
佐々木 美樹 (ささき みき)

【通所施設】  
生活介護事業所すみれ  
授産所ふくふく (作業棟)

【好きなこと】  
パソコン、ゲーム(パズル)

【得意なこと】  
アイロンビーズのキーホルダー作成

【PR】  
パフクッションの中身作成の仕事を  
しています。毎回静電気との戦いで  
す。おしゃべりが大好きです。よろし  
くお願いします 😊



【なまえ】  
鎌本 晴多 (かまもと はるた)

【園名】  
老津保育園 年少

【好きな食べ物】  
甘くてふわふわのおやつが好き  
です

【趣味・得意なこと】  
お絵描き、プラレール、  
YouTube

【PR】  
イベント等は苦手ですが、  
がんばって参加します。  
よろしくお願いします。



【なまえ】  
中神 遥希 (なかがみ はるき)

【学校名】  
高松小学校 1年

【好きなこと】  
リズム遊び、水遊び大好き  
はま寿司とサイゼリアの食  
事も大好き

【得意なこと】  
嬉しい気持ち、嫌な気持ち  
を伝えること

【がんばっていること】  
母や姉、お友達を見て食材  
を切ったり、お掃除を頑張  
っています (笑)

どんどんお友達になってく  
ださい~い。



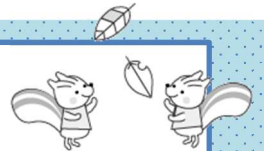
【なまえ】  
T.A

【学校名】  
田原中部小 6年

【好きなこと】  
ゲーム・YouTube

【趣味・得意なこと】  
料理!卵焼きが得意で、いろんな  
味付けで焼きます

【がんばっていること】  
体を動かす事が苦手だけど、  
バスケットボールが好きで  
シュートの練習をたくさんして  
います。



## <今後の主な行事予定>

9月22日(日) 野外療育訓練会・豊橋総合動植物園

9月29日(日) さくらピア減災学習「お口の健康を考えよう」・さくらピア

10月12日(土) 大人のお茶会・あイトピア

10月13日(日) 豊隣連体育祭・さくらピア

10月13日(日) [雨天予備日14日(祝)] ホースセラピー体験会・ピッコロファーム  
(田原市父母の会主催)

11月4日(月・祝) 愛肢連わいわいカーニバル・岡崎市中央総合公園

11月10日(日) ボランティアのつどい・さくらピア

11月12日(火)～17日(日) 豊隣連さくらピア文化祭・さくらピア

11月16・17日(土・日) 東三フロック療育訓練会・ホテルシーパレス

11月26日(木) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園

12月7日(土) ○県心身協福祉大会・愛知県社会福祉会館

12月22日(日) クリスマス会・あイトピア

○印の参加募集はありません

**※予定は順次ご案内いたしますが、急な変更・中止となる場合がございます。ご了承のほどお願い致します。**

### ☆あとがき☆

・今回の表紙は足立直生さんの作品です。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

・みなさん日頃の困ったこと、悩み事、少しだけけど聞きたいことはありませんか?もし誰かに話したくなったらまずは…fubonokai.hosyoren@gmail.com メールまたは父母の会公式 line <https://lin.ee/VrR6vKh> に!! 当会相談員が返信させていただきますね。(守秘義務は厳守します)

・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードをプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。

・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。

・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会  
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は後藤まで電話またはFAXかメールにてご連絡お願いいたします。掲載したいミニ情報もこちらまでよろしく申し上げます。

TEL : 090-5455-9243

FAX : 0532-61-5032

E-mail : melanie-hg@hi3.enjoy.ne.jp